

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」で設定する目標等について

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	
①学校運営上 の課題	02 社会に開 かれた教育課 程への対応	小中一貫教育の柱の一つして ふるさと教育を掲げており、 コーディネーターを配置し、9年 間のカリキュラム構築を進めて いる。	コーディネーターがハブ機能を果たし、学校 からの要望に対して、地域と学校をつなげ る役割を担っている。	コーディネーターがいなくてもこの取組を経 続できるような仕組みづくりを目指す。	学校運営協議会の委員が学校の 悩み等に対して、当事者意識 をもって取り組む事例が増える。	学校運営協議会から 始まる地域連携した 教育活動の実現	2	件	5	5	03 本年度 の目標値を 達成し、課 題の改善が 見られた	少しずつではあるが、学校運営協議会が定例的な会議では なく、次への行動につながるための熟議ができています。
③学校と家庭 の課題	02 放課後等 における多様 な体験活動	放課後児童クラブと放課後子ど も教室の両事業を手広く展開 し、多種多様な学びの場になる よう取り組んでいる。	両事業ともに、放課後に多様な学習プログ ラムや子どもが自ら考え、行動する主体性 を大切にした場を提供している。	似ている活動が増えてきているため、それぞ れの果たすべき役割を明確化し、両事業の 強みを生かした事業運営に向けたロードマッ プ、ビジョン形成を行う。	放課後の時間に子どもたちの 「やりたい」と思う活動を応援でき る機会を創出し、自分で考え、選 択した活動が増える。	定期的に「自分たち で活動内容を考え、 実践する」時間を設 ける。	3	件	6	6	03 本年度 の目標値を 達成し、課 題の改善が 見られた	日頃の活動の中で、「何をやりたいか」子どもの声に耳を傾 けながらの運営ができています。